



平成 24 年 3 月 2 日

各 位

札幌市北区北 9 条西 3 丁目 7 番地
会 社 名 株式会社 土屋ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 土屋 昌三
(コード番号 1840 東証第 2 部・札証)
問合わせ先 責任者役職名 取締役財務部長
氏 名 前川 克彦
電 話 番 号 011-717-5556

株式会社土屋ホーム東北「住宅・建築物省 CO₂ 先導事業」採択についてのお知らせ

この度、当社事業会社であります株式会社土屋ホーム東北の提案『BES - Tエコ住宅プロジェクト』が、国土交通省が実施する「平成 23 年度(第 3 回)住宅・建築物省 CO₂ 先導事業[特定被災区域部門]」として採択されました。「長期優良住宅先導事業」を含めるとグループとして 4 年連続 5 回目の採択となります。

『住宅・建築物省 CO₂ 先導事業は、家庭部門・業績部門の CO₂ 排出量が増加傾向にある中、省 CO₂ の実現性に優れたリーディングプロジェクトとなる住宅・建築プロジェクトを公募によって募り、支援することで、省 CO₂ 対策を強力に推進し、住宅・建築物の市場価値を高めるとともに居住・生産環境の向上を図ることを目的としており、平成 20 年度から国土交通省が実施しております。平成 23 年度第 3 回においては、東日本大震災後の我が国の厳しいエネルギー供給の状況下において、地球温暖化対策を後退することなく進めていくため、震災被災地を対象とした[特定被災区域部門]を設置し、ゼロ・エネルギー住宅の普及促進など、復興における省 CO₂ の実現性に優れたプロジェクトを公募いたしました。本募集に関し、(独)建築研究所による応募提案の評価が終了し、21 件の提案を住宅・建築物省 CO₂ 先導事業として適切であると評価いたしました。』

(独)建築研究所 住宅・建築物 CO₂ 先導事業 HP より引用

■株式会社土屋ホーム東北の提案内容

名 称 : 「BES - Tエコ住宅プロジェクト」

< 提案の概要 >

寒冷地の省エネ技術をベースに、運用時の CO₂ 排出量を抑え、太陽光発電により CO₂ 排出分の収支改善を図る。また、TV 画面でエネルギー使用量等をリアルタイムに確認できる仕組みとし、住まい手の省エネ意識を高める。

< プロジェクトのアピールポイント >

「外断熱」による、断熱補強と改修提案。

積雪地における壁掛けソーラーパネルの提案。

ヒートポンプ熱源による、ふく射式暖冷房システム。

小さな子供にもわかる省エネ貢献の啓蒙。

< 提案する住宅における先導的な省 CO₂ 技術等の特徴 >

外断熱により、壁内環境の改善を図り、断熱性と耐久性の向上提案。

オール電化住宅を前提に、高効率設備の提案。

リサイクル可能な樹脂パネル式ヒートポンプ暖冷房システムの提案。

太陽光発電の採用と積雪地における壁式ソーラーパネルの提案。

住宅内の見える化システム「en(エネルギーネットワーク)サーバー」の提案。

■株式会社土屋ホーム東北「住宅・建築物省 CO₂ 先導事業」採択に関するお問い合わせ

株式会社土屋ホーム東北 設計部長 野口正幸（電話：022-283-2535）までお願いします。

以 上

■補足（土屋グループの採択内容）

第1回 平成21年11月 土屋ホーム 国土交通省「長期優良住宅先導的モデル事業」[H&H サステイナブルシステム]採択。

第2回 平成22年6月 土屋ホームトピア 国土交通省「長期優良住宅先導事業」[CSS リフォームナビシステム]採択。

第3回 平成22年12月 土屋ホーム 国土交通省「長期優良住宅先導事業」[永持ちの MIERU 家]採択。

第4回 平成23年8月 土屋ホームトピア 国土交通省「長期優良住宅先導事業」[震災に学ぶ「安全・安心 My 住まい」]
採択。